

「本当の意味での age-friendly community とはどうあるべきか」について論理的に書こう。

◎今回は「譲歩&打ち消し」を使って書いてみよう

「譲歩、打ち消し」とは？

反対論者がいかにも言いそうなことを自分で言い、(=譲歩)、それに再反論を加える(=打ち消し)ことで反論を封じ込めるやり方です！

○Try!

「高校はすべての教科の授業を英語で行うべきだ」という意見について、実際に「譲歩&打ち消し」を使って英文を作ってみよう！

⚠注意

私は～に賛成[反対]だ。しかし、…は～である。しかし、～である。のように、<逆説+逆説>にならないようにしよう。

★Useful expressions

It is true that SV... . However, SV~ .	確かに S が V だということは事実である。 しかし、S は V だ。
Of course SV... , but SV~ .	もちろん S は V であるが、S は V である。
Some people might say SV... . However, SV~	S は V であると言う人もいるかもしれない。 しかし、S は V である。
Although SV... , SV~.	S は V であるが、S は V である。

◎構成を考えよう

【主張】

age-friendly community とは であるべきだ。
そのために、私たちは

する必要がある。

【サポート】

<譲歩>

確かに、

という取り組みは高齢者にとっては都合がよい(convenient/beneficial)だろう。

<打ち消し>

しかし、それではどの世代の人たちにとっても好都合とは限らない(not always)。

なぜなら

だからだ。

(例えば、

である。)

【結論】

したがって(Therefore, / In conclusion,), age-friendly community を作るために、私は

する必要があると考える。

